

令和 7 年

第 6 回

薩摩川内市教育委員会
(定 例 会)

会 議 録

令和 7 年 5 月 2 6 日

令和7年第6回 薩摩川内市教育委員会定例会

- 1 期 日 令和7年5月26日（月）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 藤田 芳昭 教育長職務代理者 軍神利喜男
委 員 枇杷 眞弓 委 員 土器手正之
- 4 説明のために出席した職・氏名
教 育 部 長 花木 隆 教育総務課長 坂上 克久
学校教育課長 長野 和己 学校教育指導担当課長 垣内秀一郎
社会教育課長 有村 慎吾 少年自然の家所長 南 健
中央図書館長 寺田 和一 甌島教育課長 有馬 文男
(オンラインによる出席)
学校教育課人事管理グループ長 下池 克哉 学校教育課専門員 金ヶ江俊春
学校教育課専門員 久保 博之
- 5 記 録 者 教育総務課課長代理 南 和博
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 日 程
- (1) 会議録承認
- (2) 審議
報告第9号 臨時代理の報告について（薩摩川内市立図書館協議会委員の任命について）
議案第12号 薩摩川内市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について
議案第13号 薩摩川内市社会教育委員の委嘱について
議案第14号 薩摩川内市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第15号 薩摩川内市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
- (3) 協議事項
「かごしまの先生」の魅力発信について
- (4) 諸般報告
- (5) その他
ア 令和7年6月行事予定について
イ その他

開会時間 13時30分

【開会】

教 育 長 ただ今から、令和7年第6回薩摩川内市教育委員会定例会を開会いたします。

【会議録の承認及び会議録署名者の指名】

教 育 長 令和7年第5回定例会の会議録についてお諮りします。会議録を承認してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

教 育 長 令和7年第5回会議録は承認されました。
会議録署名委員につきましては、土器手委員を指名します。

教 育 長 傍聴の申出はありますか。

教育総務課長代理 申出はございません。

教 育 長 本日の傍聴の申出はございません。

【非公開案件の確認】

教 育 長 本日の議事日程は、別紙の会次第にあるとおりです。

「報告第9号臨時代理の報告について（薩摩川内市立図書館協議会委員の任命について）」及び「議案第13号薩摩川内市社会教育委員の委嘱について」から「議案第15号薩摩川内市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について」までは、個人情報扱う案件でありますので、非公開としたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声あり）

教 育 長 そのように取り扱わせていただきます。

【審 議】

教 育 長 それでは審議に入ります。

【報告第9号臨時代理の報告について（薩摩川内市立図書館協議会委員の任命について）】

※本議案は非公開

【議案第12号薩摩川内市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について】

教 育 長 議案第12号薩摩川内市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について 教育総務課長 説明をお願いします。

教育総務課長 (議案書で説明)

教 育 長 質問はありませんか。

常 盤 委 員 樋脇学校給食センターがこれまで担当していた地域は、今後、川内学校給食センターが給食業務を担うことになるのでしょうか。

教育総務課長 現在、樋脇地域の調理につきましては、川内学校給食センターで調理をしていますが、新たに入来学校給食センターが稼働しますと、旧樋脇および旧入来学校給食センターで対応していた分、すなわち、令和7年5月1日現在でおよそ1,000食程度につきましては、今後、入来学校給食センターで調理を行う予定です。

軍 神 委 員 入来学校給食センターは、どこにできるのですか。

教育総務課長 入来中学校に隣接する学校給食センターを改修し、対応する予定です。事務所部分について若干の増設を行い、それ以外の箇所も、必要に応じて一部改修を施すことで対応してまいりたいと考えています。改修に当たっては、調理機器を導入し、必要な機能を確保する計画としています。

教 育 長 工事の終了予定等について補足してください。

教育総務課長 現在、年度の繰越事業として改修工事を進めています。工事の完了時期は、概ね5月末から6月中旬を見込んでいます。完成検査までを含めたスケジュールは、6月末日までに完成検査を完了し、竣工となる見込みです。併せまして、新しい学校給食センター施設の状況をご確認いただく機会は、6月議会終了後の7月中に実施できないか、現在調整を進めているところです。日程が確定しました際には、改めてご案内申し上げますので、よろしくお願いします。

軍 神 委 員 今後、給食の食数が大幅に増加する可能性は低いと考えます。児童

生徒数の減少傾向に加え、教職員数や学校数自体も減少している状況を考慮し、新たな場所に新設するのではなく、入来中学校に隣接する学校給食センターを活用して新しい施設を整備した、という理解でよろしいでしょうか。

教育総務課長 児童生徒数の推移もあるかと考えますが、施設の維持管理や補修の観点なども踏まえ、総合的に判断した結果、入来または樋脇のいずれかに学校給食センターを統合すべきであるとの方針が示されました。その方針を受け、今回、入来学校給食センターの改修を行い、2つの市立給食センターを統合する形で対応しているところです。昨年度の段階では、概ね 1,100食程度の調理を見込んでおりましたが、最新の5月1日現在の見込みでは、約 1,000食程度の対応となる見通しです。補足ですが、入来学校給食センター全体としては、最大で 1,200食まで対応可能な体制を整える計画です。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 議案第12号を承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教 育 長 ご異議はないと認めます。よって、本案は可決されました。

【議案第13号薩摩川内市社会教育委員の委嘱について】

※本議案は非公開

教 育 長 議案第13号を承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教 育 長 ご異議はないと認めます。よって、本案は可決されました。

【議案第14号薩摩川内市公民館運営審議会委員の委嘱について】

※本議案は非公開

教 育 長 議案第14号を承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教 育 長 ご異議はないと認めます。よって、本案は可決されました。

【議案第15号薩摩川内市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について】

※本議案は非公開

教 育 長 議案第15号を承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教 育 長 ご異議はないと認めます。よって、本案は可決されました。

【協議事項】

【「かごしまの先生」の魅力発信について】

教 育 長 これから協議を行う「教員に関する事項」につきまして、業務を担当しております学校教育課人事管理グループの職員3人を、同席させていただきます。

教 育 長 それでは、今回の協議事項は「『かごしまの先生』の魅力発信について」です。協議事項につきましては、別紙資料をご確認ください。学校教育課長 説明をお願いします。

学校教育課長 (説明)

教 育 長 昨今の教職員による不祥事の問題、また、人材確保の観点から教員の応募者が減少しているという課題もございます。併せて、教員の魅力についても改めて考える必要があると感じております。参考資料として「ひろば」欄に掲載された投稿もございます。また、「鹿児島で働く教員の魅力」についての提言もなされました。いわゆる規則や制度といった枠組みにとどまらず、保護者や市民の立場から、学校現場における教員への期待という観点でご意見をいただければと思います。なお、関連するデータ等につきましては、ご質問をいただければ、同席しております学校教育課人事管理グループの職員が、可能な範囲でお答えいたします。それでは、提言をご覧になった感想や、日頃、市教委訪問等を通じて接しておられる本市の教員に対する思いなどについて、お話しいただければと思います。

常 盤 委 員 提言の第5章「これから教員を目指す皆さんへ」の中に、「先生という仕事は、児童生徒に寄り添いながらその成長を支え、その成長を実感できる素晴らしい仕事です」と記されており、正にそのとおりであり、私自身、教育委員として現場を見せていただく中で、外から見ていた印象や知人の教員から聞いていた話以上に、教職という仕事の素

晴らしさを実感しているところです。教職は、子供たちの成長に深く関わる仕事であり、特に、担任が児童生徒に与える影響は非常に大きいものがあります。その影響は、良い方向にも働きますが、時には逆に作用することもあるのではないかと想像しております。また、7ページに記載されているように、教職を目指す学生の声を聞くと、想像以上に意欲的である一方で、その意欲の高さゆえに不安を抱えている様子も伺えます。教職というのは、一人一人の人生に深く関わり、時には社会全体の在り方にも影響を与えるような、非常に責任の重い仕事であると改めて感じております。

私自身、保育園で栄養士のサポートとして1年ほど関わった経験がありますが、その際、保育士の皆さんが子供と接する時間が保護者よりも長くなることも多く、子供たちが日々成長していく姿を間近で見る中で、教職もまた、学問だけでなく、様々な面で子供に影響を与える、非常に意義深い職業であると強く感じました。

そうした意味でも、教職の素晴らしさが、より多くの方々に伝わるような取組が今後さらに進められていくことを期待しています。

鹿児島県のホームページでも、「かごしまの先生スタートプログラム」が紹介されており、このようなイベントを通じて、教職に対する前向きなイメージや機運が醸成されていくことは非常に重要であると考えています。私が栄養の分野で「食の大切さ」を伝える活動を行ってきた経験からも、一つの仕事をやり遂げるには、壁にぶつかることや困難に直面することも多々ありますが、それでもなお、その仕事の意義や魅力を伝えていくことが、大切であると感じています。教職についても、そうした視点から、広報や啓発活動が進められていくことを望んでいます。また、13ページに記載されているような、若手教員に対するカウンセリング・フォローアップ、年齢の近い先輩教員をサポート役とするメンター制度など、制度的な支援の仕組みがあることは非常に心強く感じました。本市においても、こうしたメンター制度の導入や、管理職の個別面談、若手職員のサークル活動、さらには教職を目指す学生に対する支援策が具体的に講じられているのか、あるい

は今後の導入に向けた検討がなされているのか、お伺いしたいと思います。

学校教育課長 13ページには「民間企業では」との記載があります。教育現場においては、必ずしも「メンター制度」という名称で制度化されているわけではないですが、実際にはそれに類する支援体制として、例えば、初任者研修の中では、年齢の近い先輩教員の授業を参観する機会が設けられています。また、日常的に先輩教員から助言や指導を受ける機会があります。

さらに、学校現場では、年齢や経験年数に関わらず、すべての教職員を対象に、年度当初の面談、中間申告時の面談、そして年度末の最終面談が実施されています。これらの面談においては、管理職が教員の心身の健康状態なども踏まえながら、個別に助言や支援を行っています。このように、実質的には若手教員の育成や支援を目的とした取組が行われています。

学校教育課人事管理グループ長 各校に校内指導教員が配置されています。市教委としても、新規採用の教職員がそれぞれの学校に適応し、生き生きと教育活動に取り組んでいるかどうかという点については、気になっているところです。そのため、管理職や校内指導教員から新採教職員の様子について聞き取りを行うほか、担当職員が学校を訪問し、実際の勤務の様子を確認するなど、様々な形で情報収集に努めているところです。そうした中には、やはり業務に行き詰まりを感じたり、悩みを抱えたりしている新採教職員も見受けられます。そのような場合には、授業を参観した上で、時間を確保し、直接相談を受け、本人の話を丁寧に聞き取った上で、必要に応じて助言や支援を行っています。

教 育 長 そのほかに、教員という職業の魅力を広く発信していくための取組について、これまでどのような手だてを講じてきましたか。

学校教育課長 教職の魅力を発信する取組としては、県が作成しているポスターや教育事務所等が制作した広報資料などを活用し、周知を図っているところです。また、何よりも重要なのは、現場で働く教職員自身が前向きな気持ちで日々の業務に取り組めるように、教職に関心を持っている

方などに対して、身近な教職員が積極的に声を掛けたり、教職の魅力を直接伝えたりするなど、地道ではありますが、取組を進めているところではあります。

教 育 長 その他の取組として、昨年度、私から各校の教頭に対し、新聞への投稿を意識しながら、自身の教育現場での体験を積極的に発信してほしいという依頼を行いました。実際に、ある教頭は、前任校の児童から届いた手紙について投稿を行っており、それは教員としての喜びややりがいを感じるというものでした。また、別の校長は、定年退職を迎える年度末に、10年ぶりに教え子と再会した経験を通じて、教職という仕事の魅力は他の職業には代えがたいものであるという思いを綴っていました。さらに、ある中学校の教員は、自身が憧れていた恩師の姿に触れた経験をもとに、教職を志すに至った経緯を投稿しており、その恩師の温かい声掛けが、今の自分の原点であると述べていました。このように、教職員一人一人が、自らの体験を通じて教職の魅力を発信しようと意識的に取り組んでおります。

また、指導主事も投稿していますが、現時点ではまだ掲載には至っておりません。こうした取組は、教職という職業に対する誇りや矜持の表れであり、今後もこうした発信をさらに促進していきたいと考えています。

軍 神 委 員 3 ページに昨年度の1 学期時点で教員が28人不足していたという記載を見て、非常に驚きました。本市でも全国同様に人口減少と少子高齢化が進み、教員の年齢構成にも偏りが見られます。例えば、川内中央中学校のように50代が多い学校もありますが、市全体では年齢分布が高年齢層に偏っていて若年層が少ない構成になっているのか、非常に気になるところです。このような年齢構成の実態について、具体的にどのような状況でしょうか。

学校教育課人事管理グループ長 ただいま委員からありましたように、本市においても、教職員の年齢構成において50代以上の世代が多数を占める傾向が見受けられます。一方で、40代以下の若年層の教員が徐々に少なくなっている現状にあります。

軍 神 委 員 私が伺った話によりますと、外から見れば、確かに魅力ある学校づくりや学級づくりに取り組んでいるように見えるけれども、校内においては、例えば、「魅力ある学校とは何か」「学校をどうしていくべきか」といったことについて、世代を超えて話し合う機会が、実際にあるのかと感じています。

私自身、児童クラブで60代と20代の職員5人ほどで、ある子供に関することについて議論したことがありました。その際、私が意識していたことと、20代の職員が考えていたこととでは、まったく違っていたのです。そうした経験からも、学校においても、年齢の異なる教職員が互いに語り合う場がなければ、意識の統一は難しいのではないかと感じています。もちろん、教員としての専門性も大切ですが、それ以上に、人間性を高めていくためには、若手が年長者から学ぶだけでなく、年長者も若手から学ぶことがあるはずです。子供たちと同じように、「教えることは学ぶこと」だと思います。だからこそ、そうした世代を超えた対話の場を、もっと意識的に増やしていく必要があるのではないのでしょうか。

そこでお尋ねしたいのですが、現在、学校現場において、そうした世代間の対話の場は、実際に設けられているのでしょうか。もしそのような場がなければ、教職員間でのまとまりが生まれにくくなり、保護者からの意見や外部からの指摘に対しても、個別の対応になってしまうおそれがあります。共通の意識や、ある程度の価値観が共有されていなければ、学校全体としての一体感や信頼性にも影響を及ぼす可能性があるのではないかと考えます。

学校教育課長 私自身の経験に基づく話になりますが、例えば、校内研修の場などでICTに関する内容を扱う際には、やはり若手教員が詳しい部分が多く見受けられます。ただし、年齢の高い教員にとっては、その人の心の持ち方にもよるとは思いますが、やはり、年長の教員も率先して学ぶ姿勢が求められていると感じています。一方で、生徒指導の在り方や保護者対応といった面では、年齢の高い教員のほうが、より適切に対応できる場面も多くあると思います。そうした点については、若手

教員が年長者から学ぶ必要があると考えます。このように、校内研修の場や中学校であれば学年ごとの朝会、学年打合せ、職員会議などにおいて、意見交換を積極的に行うことが大切です。そのような観点からも、先ほどの委員のご意見は、まさに的を射たものだと感じています。

軍 神 委 員

今言われたような場面では、教職員同士が語り合う機会はあるかと思っています。しかし、日常の中で、例えば50代、60代の教員が20代の若手教員に「少し話をしようか。」と声を掛けるような対話の場があるのかと感じています。こうした場の有無は、働き方改革とも関係してくる部分ではありますが、やはり年齢の異なる教職員が、形式的なやり取りだけではなく、本音で語り合うことができる環境がなければ、学校は変わっていかないのではないかと感じています。

一方で、現場にはメンタル面で課題を抱える教員や、様々な問題を抱えた教員もあり、学校が抱える事情は様々ではありません。しかし、だからこそ、思い切ってそうした対話の場を意識的につくっていかねば、学校という場はますます教職員間のつながりが希薄になり、学校全体の一体感が損なわれていくのではないかと思います。教職員同士の関係性の良さ、何かあったときに、先生方が一丸となって対応してくれる、そうした信頼感は、日頃のチームワークやコミュニケーションの積み重ねによるものです。だからこそ、学校が「よい」と評価されるためには、教職員が一致団結できるような関係性を築くことが大事だと考えます。

私は、日頃から感じているのは、専門性も大切ですが、それ以上に人間性を高めていくことが重要であり、それは年齢の異なる教職員がうまく関わり合いながら働いてこそ実現できるものだということです。かつての郷中教育のように、山坂達者のように、その教えには「嘘をつくな」「弱い者いじめをするな」といった教えがありました。そうした精神こそが、鹿児島、そして薩摩の教育の根幹にあるのではないのでしょうか。話があちこちに及びましたが、私は、そうした精神を大切にしながら、学校がよりよい方向へと進んでいってほしいと願って

います。今の学校には、そうした部分が少し足りていないのではないかと感じています。以上、私の意見です。

枇杷委員 本日いただいた資料を拝見しまして、教員という仕事は、やりがいのある素晴らしい職業であり、その魅力をもっと発信していくべきだという趣旨に、私も共感いたします。

ふと思い出したのですが、以前、「学校の先生になるというのは、潰れることのない会社に就職するようなものだ」と言われていた時期があり、その影響もあって、教職を志す人が増えた時代があったように思います。今はそうした面を前面に出すことが難しいのかもしれませんが、教職には安定した収入があり、産休・育休などの制度も整っており、一般企業と比べても取得しやすい環境にあると思います。また、鹿児島県には豊かな自然や歴史があり、先生方は夏休み中も多忙と伺っておりますが、それでも地元の魅力に触れる機会があるというのは、本県ならではの強みではないかと感じています。現代は転職がもてはやされる時代ですが、教職は非常に安定した、恵まれた職場環境であるという一面も、もっと伝えていけるのではないかと思います。

私の息子は、教職には就いておりませんが、小学生の頃に出会った素晴らしい先生の影響で、「将来は先生になりたい」と話していたことがありました。新聞記事にもありましたが、先生が楽しそうに仕事をしている姿は、子供たちにとって非常に大きな影響を与えるものだと思います。「先生が大好き」、「自分もあんな先生になりたい」と思ってもらえるような教員の姿が、教職を志す若者を増やすきっかけになるのではないのでしょうか。ただ、先生方に「こうあるべきだ。」と押しつけることは避けなければならないとも思います。先生方は日々、本当に努力されていると感じておりますので、一概には言えません。それでも、外から見たときに、先生方が楽しく仕事をしている姿が見えることが、子供たちにとっても良い影響を与えるのではないかと思います。軍神委員がおっしゃったように、困ったときに先輩や周囲に相談できる環境があれば、一人で抱え込まずに済みますし、楽しく仕事ができるような環境づくりが、子供たちにとっても良い教育環境に

つながるのではないかと、私は感じております。

土器手委員 そもそも、「かごしまの先生」の魅力を発信していくという取組に関してですが、先生方自身が自ら発信していくことが大切なのではないかと考えています。今回の「かごしまの先生」魅力発信検討委員会の名簿を拝見したところ、構成員は教員ではない方々であるように見受けられました。現場の先生方こそが、自らの仕事の魅力や意義について語り、教職を志す若者たちに直接伝えていくことが、本来あるべき姿ではないかと思います。また、日頃の先生方の働き方についても、私自身の印象としては、授業を通して子供たちに様々なことを教え、子供たちが好きで、真面目で誠実な方々が多いと感じています。そうした先生方が、日々遅くまで勤務されている現状を見聞きする中で、雑務や保護者対応などに非常に多くの時間を割かれているのではないかという印象を持っています。ただ、私自身は業務内容を詳しく把握しているわけではありませんので、実際に先生方がどのような業務に日々取り組まれているのか、ぜひ知りたいと感じています。

教 育 長 教員の働き方改革の一環として「学校・教師が担う業務に係る3分類」が国から示されております。それについて、説明をお願いします。

学校教育課専門員 学校における業務は、次の三つに分類されています。第一に、「基本的には学校以外が担うべき業務」です。これは、登下校に関する対応、放課後夜間の見回り、学校徴収金の徴収・管理、地域ボランティアとの連絡調整などが該当します。第二に、「学校の業務ではあるが、必ずしも教師が担う必要のない業務」です。具体的には、調査・統計への回答、児童生徒の休み時間の対応、校内清掃、部活動などが挙げられます。第三に、「教師の業務ではあるが、負担軽減が可能な業務」です。これには、給食時の対応、授業準備、学習評価や成績処理、学校行事の準備・運営、進路指導、支援が必要な児童生徒・家庭への対応などが含まれます。以上のように、業務の性質に応じて整理がなされています。

教 育 長 このように、国が一つの例として業務の分類を示しており、それに基づいて、例えば部活動の地域展開なども学校業務の見直しの一環とし

て位置づけられています。本市においても、人的支援の一つとして学校校務支援員を配置し、印刷業務や環境整備など、教員が本来の授業に専念できるよう、業務改善に取り組んでいるところです。

土器手委員 正にそのような取組が、少しでも教員の負担軽減につながっていけばと願っています。特に、夢や希望を持って教職に就いた若い先生方が、現場で過度な負担を感じてしまうことのないように、教員本来の業務に集中できる環境を整えていただきたいと思います。ただ、先ほどの業務分類を聞いても、実際には「これは教師の仕事ではない」と明確に線引きするのは難しい部分もあるのではないかと感じました。教育には人との関わりが不可欠であり、そこには人情や人間力といった要素も深く関わってきます。そうした関わりが、子供たちの成長にも、また教員自身の成長にもつながっていくのだと思います。もちろん、業務が多くなること自体は課題ですが、それを一概に「悪いこと」と捉えるのではなく、むしろ前向きに捉えて、そうした経験をプラスに変えていけるような姿勢も大切ではないかと感じています。

軍神委員 私自身、小・中・高等学校での教員経験を経て、また、課長含め指導主事等、割愛職員が感じていることかもしれませんが、それは、「子供のそばにいられることは、本当に幸せなことだ」ということです。例えば、市職員や県職員など大人同士の関係の中に身を置くのと、子供たちと関わる現場にいるのとでは、日々の中にある笑いや感動が異なります。だからこそ、教員の皆さんには、子供のそばにいられることの幸せを、ぜひ実感してほしいと思います。もちろん、教職には困難や悲しみ、様々な苦労も伴います。しかし、それでもなお、子供たちと共に過ごす時間の中にあるそうした幸せを感じながら日々を過ごし、子供たちに寄り添う教員であってほしいと思います。

教 育 長 まるで私たちの思いをまとめていただいたような気持ちです。様々な角度から考えてみると、教職に対する期待や可能性は、まだまだ大きく広がっていくのではないかと感じております。私たちの仕事は、何よりも子供たちの存在があってこそ成り立つものです。だからこそ、「子供たちのためであれば、どんなことでも力を尽くしたい」と強く

思います。

教 育 長 本日は、「かごしまの先生」の魅力発信に関して、保護者としての立場、またご自身のご経験を踏まえた貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。事務局職員は、校長、教頭をはじめ、多くの教職員と接する中で、本日頂戴したご意見やご感想をしっかりと受け止め、今後の取組の中に生かしてまいりたいと考えています。また、改めて感じたこととして、不祥事が発生した際には、たとえそれが一人の教員によるものであっても、公教育全体に対する信頼が大きく損なわれるという現実があります。だからこそ、日頃から教員の魅力を積極的に発信していくと同時に、そうした教員の努力や信頼を損なうことのないよう、予防的な取組を一層強化していく必要があると感じています。本日は貴重な時間を割いていただき、ありがとうございました。以上で協議を終わりたいと思います。

【諸般報告】

教 育 長 それでは、諸般報告について、教育総務課から説明をお願いします。

教育総務課長 （資料１ ページについて説明）

教 育 長 質問はありませんか。

（なしの声あり）

教 育 長 学校教育課の説明をお願いします。

学校教育課長 （資料２ ページについて説明）

教 育 長 質問はありませんか。

常 盤 委 員 私の認識不足かもしれませんが、体育大会はこの時期に実施する学校と秋に実施する学校があるのでしょうか。

学校教育課長 本年度は、これまで入来中、水引小・中、樋脇小、東郷幼稚園が開催しました。これから６月１日に祁答院小学校で開催されますが、それ以降は９月以降に実施されます。

教 育 長 今年度初めて春に開催したのは東郷学園もです。他は、昨年度や一昨年度から春開催を継続している幼稚園、学校です。春開催の主な理由は、やはり熱中症対策です。実施された樋脇小学校の運動会も、前日

とは打って変わって晴天に恵まれ、グラウンドの状態も良好で無事に開催されました。ただし、予行練習の際に児童1人が熱中症の疑いで救急搬送される事案が発生しました。その児童については、水筒を持参していなかったこと、朝食を取っていなかったことが要因の一つではないかと考えられます。幸い、点滴を受けた後はその日のうちに帰宅できましたが、こうした事例からも、家庭における生活習慣の重要性について、改めて啓発の必要性を感じました。

軍 神 委 員 以前、教え子である医師と話をした際に、私の息子もかつて体育大会で熱中症になったことがあるという話をしました。教員としての立場で、少し恥ずかしい話ではありますが、その医師から「熱中症はくせになる。」と言われました。つまり、熱中症を経験すると、「またなるのではないか。」という不安が精神的な影響を及ぼし、それが身体にも表れて再発しやすくなるということです。これは子供も大人も同じで、だからこそ、予防が何よりも大切だと感じました。水分補給をこまめに行う、日陰に移動するといった行動を意識的にとることが重要です。私自身も気を付けなければならないと実感しています。教員も含め、子供たちに対しても適切な指導が必要だと感じています。

土器手委員 運動会の話題が出ましたので、私からも一言申し上げます。昨日、校区のソフトボール大会で倒れた方がいらっしゃいました。AEDを持参し、すぐに救急車を呼ぶ対応がなされました。学校現場でもAEDの使用に関する救急講習が実施されていると聞いておりますが、教職員の皆さんは受講されているのでしょうか。

学校教育課長 特に、夏季は水難事故等のリスクもあるため、校内研修の一環としてAED講習を受講しています。

土器手委員 安心しました。あと、先ほどの「熱中症はくせになる」という話にも関連しますが、私たちの現場仕事でも、一度熱中症になった者は、その年の夏はもう体がもたないというのが実感です。一度なると、再発しやすくなります。体がその状態を覚えてしまうというのは本当にあることで、皆さんにもぜひ気を付けていただきたいと思います。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 社会教育課の説明をお願いします。

社会教育課長 (資料3 ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 少年自然の家の説明をお願いします。

少年自然の家所長 (資料6 ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

土器手委員 「こどもの日フェスタ」に私は当日参加できなかったのですが、参加された方から「とても良かった。」との声を聞きました。ただ一方で、駐車場の混雑による渋滞が発生していたとのことで、その点については、来年度に向けて改善をお願いできればと思います。また、ボランティアの募集についてですが、具体的に、どのような方法で、どの範囲に対して募集を行ったのか、お聞かせいただけますか。

少年自然の家所長 今回のボランティア募集につきましては、市内の中学校・高等学校、ならびに鹿児島純心大学に対して呼び掛けを行い、協力をいただきました。指導者とも密に連携を取りながら、円滑に運営を進めることができました。

土器手委員 ボランティアの皆さんには、まさにボランティア精神でご協力いただいているわけですので、今後も安全第一で、けがのないように運営していただければと思います。

軍 神 委 員 私も孫を連れて参加しましたが、孫の世話で少々疲れました。当日は非常に賑わっており、大型の遊具や電車などもあり、子供たちは大変喜んでいました。あのような遊具や電車の設置にかかる費用は、どこから出ているのでしょうか。常設ではないと思いますが。

少年自然の家所長 今回の事業実施にあたっては、予算を確保しており、概ね200万円程度を充てております。

軍 神 委 員 親子連れも多く、非常に良かったと思います。ただ、駐車場について

は、警備員も配置されていたものの、誘導がうまくいかず、トラブルになりかけた場面もあったようです。子供たちも通行する場所ですので、今後はより一層の安全対策と誘導體制の強化をお願いしたいと思います。

教 育 長 貴重なご意見をありがとうございます。この取組は、市長の掲げる「スマイルアクション50」の一環として、笑顔で子供が遊ぶ、そして子供が学ぶということを目的に予算化されたものです。従来の「こどもの日フェスタ」に加え、遊具の充実など新たな要素が加わったことで、より魅力的な内容となりました。この事業の予算はすべて一般財源からの支出でしょうか。

教 育 部 長 今回の事業費は所長が申し上げたとおり、約210万円で、すべて一般財源からの支出となっております。また、当日の来場者からの声として、「駐車場はあるが遠い。」との意見が寄せられました。特に第3駐車場からベビーカーを押して上がってくる保護者の姿も見られました。そうした声を受けて、「河川敷を活用できないか。」といったご意見もあり、来年度に向けて要検討ということで市長には報告しているところです。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 中央図書館の説明をお願いします。

中央図書館長 (資料7ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

軍 神 委 員 図書館には、漫画やアニメも所蔵されていますか。

中央図書館長 はい、ございます。

軍 神 委 員 それでは、眞藤雅興さんの「ルリドラゴン」はありますか。彼は地元出身で、18歳のときに有名漫画誌で新人賞を受賞した漫画家です。もし可能であれば、図書館での所蔵を検討いただけないでしょうか。

中央図書館長 以前、学校訪問の際にその作品についてご紹介いただき、帰館後すぐに確認しましたが、現時点では、所蔵しておりませんでした。今後の選書の中で検討してまいりたいと思います。ちなみに、現在図書館で

人気のある漫画の一つに「税金で買った本」という作品があります。図書館業務やレファレンスサービス、司書の仕事などを題材にした内容で、利用者からの関心も高いようです。今回ご紹介いただいた眞藤さんは地元出身で高い評価を受けている漫画家ですので、選書委員会や司書とも相談のうえ、検討してまいりたいと思います。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 甌島教育課の説明をお願いします。

甌島教育課長 (資料 1 1 ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

土器手委員 現在、幼稚園の名称募集について、どの程度の応募が寄せられているのか教えていただけますか。

甌島教育課長 その件につきましては、学校教育課に確認いただければと思います。

学校教育課指導担当課長 現時点での正確な数は把握しておりませんが、先週末の時点では、約 3 0 件の応募があったと確認しております。

土器手委員 この名称募集について、教育委員にも応募の権利はありますか。

学校教育課指導担当課長 はい、教育委員の皆様にもご応募いただけます。

常 盤 委 員 2 5 日に実施された「わくわく薩摩川内土曜塾」の芋の苗植えについて、把握されている範囲で構いませんので、参加人数や活動内容、今後の収穫の予定などについて教えていただけますか。

甌島教育課長 会場は、鹿島の鹿島断崖が見える夜萩円山公園に行く途中の段々畑です。鹿島小学校の児童 2 2 人のうち当日は約 1 0 人が参加したと聞いております。

常 盤 委 員 里地区でも、学校の体験活動の一環として同様の取組が行われていると聞いており、鹿島でも実施されているのはいいと思いました。今後の状況についても、また教えていただければと思います。

甌島教育課長 参考までに申し上げますと、里中学校および海星中学校では、学校で育てたサツマイモを焼酎に加工し、島を離れる生徒たちに「2 0 歳になったときに飲もう」といった形で提供する取組が行われています。

軍 神 委 員 「ウミネコ留学生里親の会」は、県外から来られた保護者の方々が参

加されるのですか。また、年に何回程度開催されているのですか。

甌島教育課長 「里親の会」は年に3回程度開催されており、参加されるのは実親ではなく、里親の方々です。今回は、受け入れから1か月が経過したタイミングで、留学生の各家庭での様子を共有し合う場として開催されました。現在のところ、学校生活においては特に問題もなく、楽しく過ごしていると聞いております。

枇杷委員 眼科耳鼻科検診が実施されたと伺いましたが、どちらの先生が担当されたのでしょうか。

甌島教育課長 眼科はさつま町の眼科医、耳鼻科は本市の耳鼻科の医師にご担当いただきました。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 以上で諸般報告を終わります。

【その他】

教 育 長 次に(4)その他のア 令和7年6月行事予定について、教育総務課から順に説明をしてください。

教育総務課長 説 明

(以後、順次各課からの報告)

教 育 長 行事予定について、ご質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 それでは、「イ その他」に入ります。事務局から何かありますか。

社会教育課長 (県指定文化財の指定について報告)

軍 神 委 員 阿弥陀三尊像は相当古いものですが、現在は県の有形文化財に指定されましたね。さらに国の指定を受ける、あるいは国への答申が行われることはあるのでしょうか。

社会教育課長 そのような場合には、文化庁の調査官による調査が行われた上で、国の指定基準に適合すると判断されれば、国の文化財として指定される可能性もあると考えられます。

軍 神 委 員 その手続きは、市が行うのですか、それとも県ですか。

社会教育課長 基本的には、市が文化庁に対して具申書、いわば意見書のような形で提出することになります。その後、必要に応じて国の登録や指定に向けた手続きが進められることになります。

教 育 長 他に質問はありませんか。

（なしの声あり）

教育総務課長 （前回の定例教育委員会での枇杷委員からの放課後児童クラブの質問について報告）

教 育 長 教育委員の皆様から何かございますか。

（なしの声あり）

【閉 会】

教 育 長 以上で、全ての審議が終了しました。これで、令和7年第6回薩摩川内市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 1 5 時 3 5 分

教 育 長

教 育 委 員